

「特定求職者雇用開発助成金（発達障害者・難治性疾患患者雇用開発コース）」のご案内

「特定求職者雇用開発助成金（発達障害者・難治性疾患患者雇用開発コース）」は、障害者手帳を持たない発達障害や難病のある方を雇い入れる事業主に対して助成し、発達障害や難病のある方の雇用と職場定着を促進するためのものです。

発達障害や難病のある方を新たに雇い入れた事業主に助成金を支給します

以下の①～②のすべてに当てはまる対象者をハローワーク、地方運輸局、特定地方公共団体※¹、職業紹介事業者※¹の紹介により、**一般被保険者かつ継続して雇用する労働者※²**として**新たに雇用し、対象労働者の雇用管理に関する事項※³**を報告する事業主に助成金を支給します。

「発達障害者・難治性疾患患者雇用開発コース」の対象者

① 障害者手帳を所持していない方であって、発達障害または難病のある方※⁴

- ▶ 発達障害の場合：発達障害者支援法第2条に規定する発達障害者（自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害など）
- ▶ 難病の場合：別紙の難病がある方

② 雇入れ日時点で満年齢が65歳未満である方

- ※¹ 発達障害者・難治性疾患患者雇用開発コースの取扱いを行うに当たって、雇用関係給付金の取扱いについて同意書を労働局に提出している特定地方公共団体・職業紹介事業者をいいます。
- ※² 継続して雇用する労働者とは、対象労働者の年齢が65歳以上に達するまで継続して雇用し、かつ、当該雇用期間が継続して2年以上あることをいいます。
- ※³ 雇い入れた労働者に対する配慮事項などを支給申請にあわせて報告していただきます。
- ※⁴ 「障害者の雇用の促進等に関する法律」第2条第2号に規定する身体障害者、同条第4号に規定する知的障害者、同条第6号に規定する精神障害者に該当する方は除きます。

助成額

対象労働者	企業規模	助成対象期間※ ⁵	支給総額※ ⁶				
			第1期	第2期	第3期	第4期	
短時間労働者※ ⁷ 以外の労働者	中小企業以外	1年	50万円	25万円	25万円		
	中小企業	2年	120万円	30万円	30万円	30万円	30万円
短時間労働者	中小企業以外	1年	30万円	15万円	15万円		
	中小企業	2年	80万円	20万円	20万円	20万円	20万円

※^{5,6} 助成対象期間を6か月ごとに区分した期間を支給対象期（第1期・第2期・第3期・第4期）といい、支給総額を支給対象期に分けて支給します。

※⁷ 短時間労働者とは、1週間の所定労働時間が、20時間以上30時間未満の労働者をいいます。



対象となる事業主の要件

- ◆雇用保険の適用事業主であること
- ◆対象労働者の出勤状況や賃金の支払い状況などを明らかにする書類※8を整備・保管していること
※8 労働者名簿、賃金台帳、出勤簿など

<ご注意>

1. 以下に該当する場合は助成金が支給されません

1	基準期間（対象労働者の雇入れ日の前日の前後6か月間）に、対象労働者を雇い入れた事業所において、雇用保険被保険者を解雇（勧奨退職を含む）など事業主都合で離職させたことがある場合
2	基準期間に、対象労働者を雇い入れた事業所において、雇用保険被保険者を、特定受給資格者となる離職理由のうち離職区分コードの1A（解雇等）または3A（勧奨退職のほか、事業縮小や賃金大幅低下などによる正当理由自己都合離職など）の理由によって、当該雇入れ日における雇用保険被保険者数の6%を超えて、かつ4人以上離職させていた場合
3	ハローワークなどの紹介以前に、雇用の内定（予約）があった対象労働者を雇い入れる場合
4	ハローワークなどの紹介時点で雇用保険被保険者など失業と同様の状態にあると認められない対象労働者を雇い入れる場合
5	雇入れ日の前日から過去3年間に、職場適応訓練（短期の職場適応訓練を除く）を受けたことのある者を当該職場適応訓練を行った事業主が雇い入れる場合
6	雇入れ日の前日から過去3年間に、当該雇入れに係る事業所と雇用、請負、委任の関係にあった者、または出向、派遣、請負、委任の関係により当該雇入れに係る事業所において就労したことのある者を雇い入れる場合
7	雇入れ日の前日から過去3年間に、当該雇入れに係る事業所において、通算して3か月を超えて訓練・実習等を受講したことのある者を雇い入れる場合
8	雇入れ日の前日から過去1年間に、対象労働者と雇用、請負、委任の関係にあった事業主、出向、派遣、請負、委任の関係により対象労働者を事業所において就労させたことがある事業主、対象労働者が通算して3か月を超えて受講などしたことがある訓練・実習などを行っていた事業主と、資本的・経済的・組織的関連性などからみて密接な関係にある事業主が当該対象労働者を雇い入れる場合
9	対象労働者が、雇入れ事業主の事業所の代表者または取締役の3親等以内の親族（配偶者、3親等以内の血族と姻族）である場合
10	支給対象期における対象労働者の労働に対する賃金を、支払期日を超えて支払っていない場合
11	ハローワークなどの紹介時点と異なる条件で雇い入れた場合で、当該対象労働者に対し労働条件に関する不利益または違法行為があり、かつ、当該対象労働者から求人条件が異なることについての申し出があった場合
12	高齢者雇用確保措置を講ずべきことの勧告を受けた場合

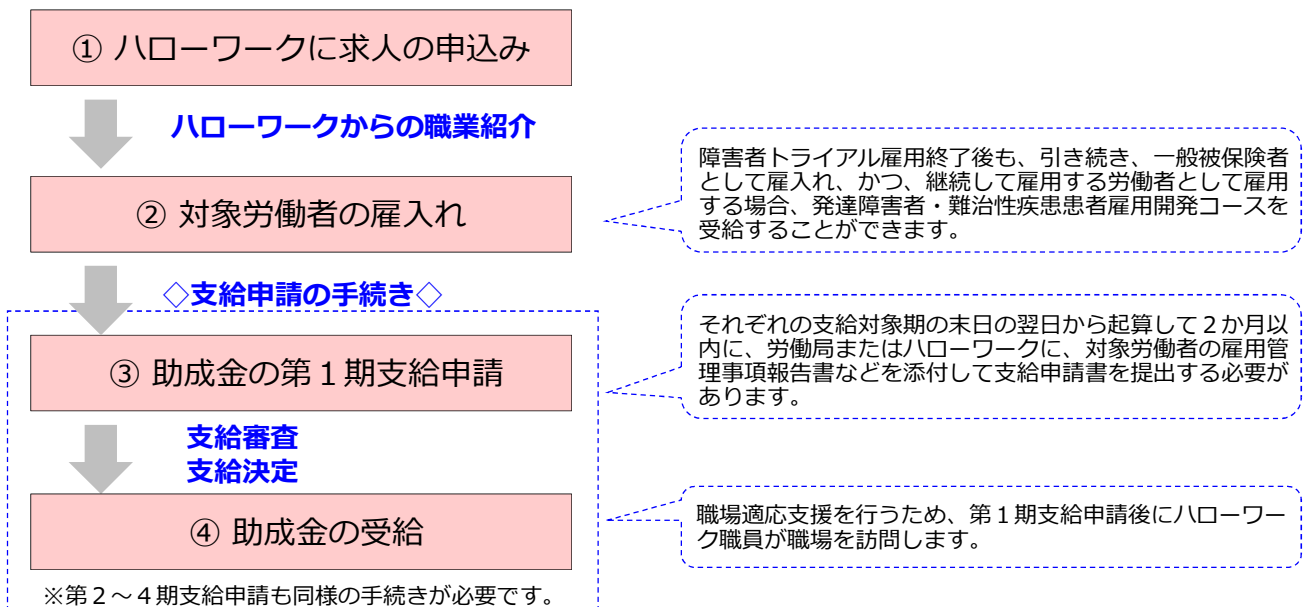
2. 支給対象期の途中や当該支給対象期に係る支給決定までに、対象労働者を事業主都合により離職※9させた場合は、当該支給申請は不支給となります。また、最後の支給対象期が経過する前に当該対象労働者を事業主都合により離職させた場合は、すでに支給されている分があればそれを返還する必要があります。

※9 事業主都合による離職とは、解雇、勧奨退職、事業縮小や賃金大幅低下、事業所移転等による正当自己都合離職などを指します。

この他にも支給要件があります。詳しくは、都道府県労働局・ハローワークへお問い合わせください。

受給までの流れ

ハローワークから紹介を受けた場合



発達障害者・難治性疾患患者雇用開発コース対象疾患一覧 1 (別紙)

番号	疾病名	番号	疾病名	番号	疾病名
1	アイカルディ症候群	64	完全大血管転位症	127	コフィン・ローリー症候群
2	アイザックス症候群	65	眼皮膚白皮症	128	混合性結合組織病
3	I g A腎症	66	偽性副甲状腺機能低下症	129	鯉耳腎症候群
4	I g G 4 関連疾患	67	ギャロウェイ・モト症候群	130	再生不良性貧血
5	亜急性硬化性全脳炎	68	急性壊死性脳症	131	サイトメガロウィルス角膜炎
6	アジソン病	69	急性網膜壊死	132	再発性多発軟骨炎
7	アッシャー症候群	70	球脊髄性筋萎縮症	133	左心低形成症候群
8	アトピー性脊髄炎	71	急速進行性糸球体腎炎	134	サルコイドーシス
9	アペール症候群	72	強直性脊椎炎	135	三尖弁閉鎖症
10	アミロイドーシス	73	強皮症	136	三頭筋素欠損症
11	アラジール症候群	74	巨細胞性動脈炎	137	CFC症候群
12	有馬症候群	75	巨大静脈奇形 (頸部口腔咽頭びまん性病変)	138	シェーグレン症候群
13	アルポート症候群	76	巨大動脈奇形 (頸部顔面又は四肢病変)	139	色素性乾皮症
14	アレキサンダー病	77	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	140	自己食空腔性ミオパチー
15	アンジェルマン症候群	78	巨大リンパ管奇形 (頸部顔面病変)	141	自己免疫性肝炎
16	アントレー・ビクスラー症候群	79	筋萎縮性側索硬化症	142	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症
17	イソ甘草酸血症	80	筋型糖原病	143	自己免疫性溶血性貧血
18	一次性ネフローゼ症候群	81	筋ジストロフィー	144	四肢形成不全
19	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	82	クッシング病	145	シトステロール血症
20	1 p 36欠失症候群	83	クリオピリン関連周期熱症候群	146	シトリン欠損症
21	遺伝性自己炎症疾患	84	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	147	紫斑病性腎炎
22	遺伝性ジストニア	85	クルーゾン症候群	148	脂肪萎縮症
23	遺伝性周期性四肢麻痺	86	グルコーストランスporter 1 欠損症	149	若年性肺炎腫
24	遺伝性脾炎	87	グルタル酸血症1型	150	シャルコー・マリー・トゥース病
25	遺伝性鉄芽球性貧血	88	グルタル酸血症2型	151	重症筋無力症
26	VATER症候群	89	クロウ・深瀬症候群	152	修正大血管転位症
27	ウィーバー症候群	90	クローン病	153	シュワルツ・ヤンペル症候群
28	ウィリアムズ症候群	91	クローンカイト・カナダ症候群	154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症
29	ウィルソン病	92	痙攣重積型 (二相性) 急性脳症	155	神経細胞移動異常症
30	ウエスト症候群	93	結節性硬化症	156	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症
31	ウェルナー症候群	94	結節性多発動脈炎	157	神経線維腫症
32	ウォルフラム症候群	95	血栓性血小板減少性紫斑病	158	神経フェリチン症
33	ウルリッヒ病	96	限局性皮質異形成	159	神経有棘赤血球症
34	HTLV-1 関連脊髄症	97	原発性局所多汗症	160	進行性核上性麻痺
35	A T R - X 症候群	98	原発性硬化性胆管炎	161	進行性骨化性線維異形成症
36	A D H 分泌異常症	99	原発性高脂血症	162	進行性多巣性白質脳症
37	エーラス・ダンロス症候群	100	原発性側索硬化症	163	進行性白質脳症
38	エプスタイン症候群	101	原発性胆汁性胆管炎	164	進行性ミオクローヌステんかん
39	エプスタイン病	102	原発性免疫不全症候群	165	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症
40	エマヌエル症候群	103	顕微鏡の大腸炎	166	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症
41	遠位型ミオパチー	104	顕微鏡的多発血管炎	167	スタージ・ウェーバー症候群
42	円錐角膜	105	高 I g D 症候群	168	スティーヴンス・ジョンソン症候群
43	黄色靨帯骨化症	106	好酸球性消化管疾患	169	スミス・マギニス症候群
44	黄斑ジストロフィー	107	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	170	スモン
45	大田原症候群	108	好酸球性副鼻腔炎	171	脆弱X症候群
46	オクシピタル・ホーン症候群	109	抗糸球体基底膜腎炎	172	脆弱X症候群関連疾患
47	オスラー病	110	後縦靨帯骨化症	173	正常圧水頭症
48	カーニー複合	111	甲状腺ホルモン不応症	174	成人スチル病
49	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	112	拘束型心筋症	175	成長ホルモン分泌亢進症
50	潰瘍性大腸炎	113	高チロシン血症1型	176	脊髄空洞症
51	下垂体前葉機能低下症	114	高チロシン血症2型	177	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)
52	家族性地中海熱	115	高チロシン血症3型	178	脊髄髄膜瘤
53	家族性良性慢性天疱瘡	116	後天性赤芽球癆	179	脊髄性筋萎縮症
54	カナバン病	117	広範脊柱管狭窄症	180	セピアブテリン還元酵素 (SR) 欠損症
55	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	118	抗リン脂質抗体症候群	181	前眼部形成異常
56	歌舞伎症候群	119	コケイン症候群	182	全身型若年性特発性関節炎
57	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	120	コステロ症候群	183	全身性エリテマトーデス
58	カルニチン回路異常症	121	骨形成不全症	184	先天異常症候群
59	加齢黄斑変性	122	骨髄異形成症候群	185	先天性横隔膜ヘルニア
60	肝型糖原病	123	骨髄線維症	186	先天性核上性球麻痺
61	間質性膀胱炎 (ハンナ型)	124	ゴナドトロピン分泌亢進症	187	先天性気管狭窄症
62	環状20番染色体症候群	125	5 p 欠失症候群	188	先天性魚鱗癬
63	関節リウマチ	126	コフィン・シリズ症候群	189	先天性筋無力症候群

発達障害者・難治性疾患患者雇用開発コース対象疾患一覧 2 (別紙)

番号	疾病名	番号	疾病名	番号	疾病名
190	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール (GPI) 欠損症	249	那須・ハコラ病	308	ペルーシド角膜辺縁変性症
191	先天性三尖弁狭窄症	250	軟骨無形成症	309	ペルオキシソーム病 (副腎白質ジストロフィーを除く。)
192	先天性腎性尿管症	251	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	310	片側巨脳症
193	先天性赤血球形成異常性貧血	252	22q11.2欠失症候群	311	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群
194	先天性僧帽弁狭窄症	253	乳幼児肝巨大血管腫	312	芳香族L-アミノ酸炭酸酵素欠損症
195	先天性大脳白質形成不全症	254	尿素サイクル異常症	313	発作性夜間ヘモグロビン尿症
196	先天性肺静脈狭窄症	255	ヌーナン症候群	314	ポルフィリン症
197	先天性風疹症候群	256	ネイルパテラ症候群 (爪膝蓋骨症候群) / LMX1B関連腎症	315	マリネスコ・シェーグレン症候群
198	先天性副腎低形成症	257	脳髄黄色腫症	316	マルファン症候群
199	先天性副腎皮質酵素欠損症	258	脳表へモジデリン沈着症	317	慢性炎症性脱髄性多発神経炎 / 多巣性運動ニューロパチー
200	先天性ミオパチー	259	膿疱性乾癬	318	慢性血栓性肺高血圧症
201	先天性無痛無汗症	260	嚢胞性線維症	319	慢性再発性多発性骨髄炎
202	先天性葉酸吸収不全	261	パーキンソン病	320	慢性膀胱炎
203	前頭側頭葉変性症	262	パージャー病	321	慢性特発性偽性腸閉塞症
204	早期ミオクロニー脳症	263	肺静脈閉塞症 / 肺毛細血管腫症	322	ミオクロニー欠神てんかん
205	総動脈幹遺残症	264	肺動脈性肺高血圧症	323	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん
206	総排泄腔遺残	265	肺胞蛋白症 (自己免疫性又は先天性)	324	ミトコンドリア病
207	総排泄腔外反症	266	肺胞低換気症候群	325	無虹彩症
208	ソトス症候群	267	パッド・キアリ症候群	326	無脾症候群
209	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	268	ハンチントン病	327	無βリポタンパク血症
210	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	269	汎発性特発性骨増殖症	328	メーブルシロップ尿症
211	大脳皮質基底核変性症	270	P C D H 19 関連症候群	329	メチルグルタコン酸尿症
212	大理石骨病	271	非ケトーシス型高グリシン血症	330	メチルマロン酸血症
213	ダウン症候群	272	肥厚性皮膚骨膜炎	331	メビウス症候群
214	高安静脈炎	273	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	332	メンクス病
215	多系統萎縮症	274	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	333	網膜色素変性症
216	タナトフォリック骨異形成症	275	肥大型心筋症	334	もやもや病
217	多発血管炎性肉芽腫症	276	左肺動脈右肺動脈起始症	335	モワット・ウィルソン症候群
218	多発性硬化症 / 視神経脊髄炎	277	ビタミンD依存性くる病 / 骨軟化症	336	薬剤性過敏症候群
219	多発性軟骨性外骨腫症	278	ビタミンD抵抗性くる病 / 骨軟化症	337	ヤング・シン普森症候群
220	多発性嚢胞腎	279	ヒッカースタッフ脳幹脳炎	338	優性遺伝形式をとる遺伝性難聴
221	多脾症候群	280	非典型性溶血性尿毒症症候群	339	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん
222	タンジール病	281	非特異性多発性小腸潰瘍症	340	4 p欠失症候群
223	単心室症	282	皮膚筋炎 / 多発性筋炎	341	ライソゾーム病
224	弾性線維性仮性黄色腫	283	びまん性汎細気管支炎	342	ラスムッセン脳炎
225	短腸症候群	284	肥満低換気症候群	343	ランゲルハンス細胞組織球症
226	胆道閉鎖症	285	表皮水疱症	344	ランドウ・クレフナー症候群
227	遅発性内リンパ水腫	286	ヒルシュブルング病 (全結腸型又は小腸型)	345	リジン尿性蛋白不耐症
228	チャーシ症候群	287	ファイファー症候群	346	両側性小耳症・外耳道閉鎖症
229	中隔視神経形成異常症 / ドモルシア症候群	288	ファロー四徴症	347	両大血管右室起始症
230	中毒性表皮壊死症	289	ファンconi貧血	348	リンパ管腫症 / ゴーハム病
231	腸管神経節細胞減少症	290	封入体筋炎	349	リンパ管筋腫症
232	TSH分泌亢進症	291	フェニルケトン尿症	350	類天疱瘡 (後天性表皮水疱症を含む。)
233	TNF受容体関連周期性症候群	292	複合カルボキシラーゼ欠損症	351	ルビンシュタイン・テイビ症候群
234	低ホスファターゼ症	293	副甲状腺機能低下症	352	レーベル遺伝性視神経症
235	天疱瘡	294	副腎白質ジストロフィー	353	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症
236	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	295	副腎皮質刺激ホルモン不応症	354	劣性遺伝形式をとる遺伝性難聴
237	特発性拡張型心筋症	296	ブラウ症候群	355	レット症候群
238	特発性間質性肺炎	297	ブラダー・ウィリ症候群	356	レノックス・ガストー症候群
239	特発性基底核石灰化症	298	プリオン病	357	ロスムンド・トムソン症候群
240	特発性血小板減少性紫斑病	299	プロピオン酸血症	358	肋骨異常を伴う先天性側弯症
241	特発性血栓症 (遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	300	PRL分泌亢進症 (高プロラクチン血症)		
242	特発性後天性全身性無汗症	301	閉塞性細気管支炎		
243	特発性大腿骨頭壊死症	302	β-ケトチオラーゼ欠損症		
244	特発性門脈圧亢進症	303	ペーチェット病		
245	特発性両側性感音難聴	304	バスレムミオパチー		
246	突発性難聴	305	ヘパリン起因性血小板減少症		
247	ドラベ症候群	306	ヘモクロナトーシス		
248	中條・西村症候群	307	ペリー症候群		